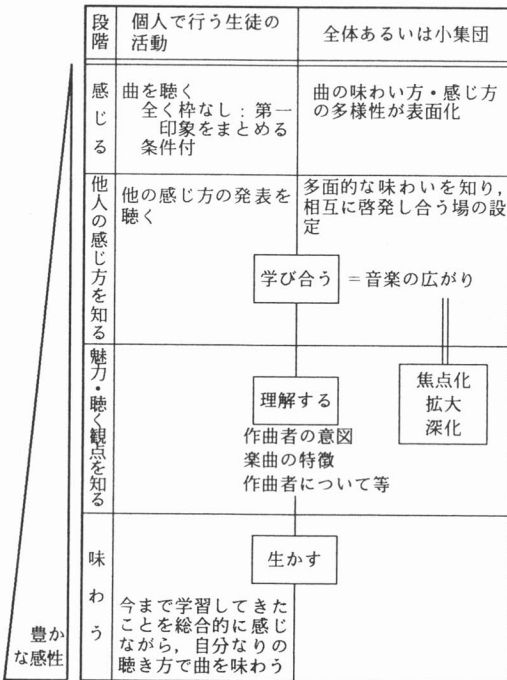


け止め、生活の中に音楽が常に存在し、それに触れるとき慰めや安らぎ、楽しさを味わう心の豊かさを育てる力につながっていくと考える。

5. 「確かな力」を目指す学習指導過程の基本的な型（鑑賞領域において）



6. 第1次検証授業の考察

(1) 題材・教材名・題材の目標

情景と音楽 鑑賞「月の光」

ドビュッシー作曲

題材の目標は、「①ピアノの音色の美しさ・印象派の音楽の雰囲気味わわせる。②印象派の音楽の特徴・ドビュッシーについて理解させる。」である。

(2) 本時の目標

不協和音のかもしれない神秘的な響きを感じ取り、幻想的な雰囲気を味わいながら、その情景を想像豊かに聴くことがで

きる。

(3) 下位行動目標

- ① 10枚の絵をはっきりした基準をもって4つのグループに分けることができる。
- ② 自分の考えをもとに、班での話し合い活動・全員で深めていく活動に積極的に参加することができる。
- ③ 「月の光」を聴いて、曲のイメージに近い絵として印象派の絵を選ぶことができる。
- ④ 古典派の音楽と印象派の違いを感じ取ることができる。

(4) 授業の考察

この時間は、楽曲の多面的な味わい方・感じ方を理解させ、お互いに抱いた感じや味わいを、より豊かで広がりのあるものと相互に啓発し合う活動を通して、感性の豊かさや深化をねらった授業である。（指導案参照）

学習用容2：前時「月の光」を色だけでイメージした絵10枚を4つのグループに分ける活動

まず個人で、その後班で話し合わせた。班ごとの発表では、自分たちとの違いを見つけ、それについて討議するひとこまもみられ、見方や感じ方を練り上げる構えがみられた。

学習内容3：印象派、ルネッサンス等の絵から「月の光」のイメージに最も近い作品を選ぶ活動

ほとんどの生徒は、教師の意図どおりの答えをだしていた。それ以外